

❁日本とドイツの比較

目指すのは“向こう三軒両隣”の助け合いの確立

日本とドイツの比較

65 歳以上 26.7% 21.1%

合計特殊出生率 1.42 1.38

※少子高齢化は同じ

→高齢者が今まで以上に活躍すべき

高齢者率、出生率ともよく似ています。

❁ZWAR



ドイツ研修で最も注目した ZWAR についてお話しします。

・ZWAR の概要

ZWAR とは仕事と年金生活の間という意味を持つ。仕事をしている時期から、退職の時期への移行をどのようにしていくかが ZWAR の活動の中心。退職と同時に社会との接点がなくなるのではなく、この時期の移行後も社会に貢献し続けるためにはどのようにあるべきかということを考える機会を提供している。ZWAR はノルトラインヴェストファーレン州の取り組みの一つであり、全国的な取組ではない。ZWAR のネットワークはバーチャルなものではなく、実際に人が集まるネットワークであり、55 歳以上の人が参加可能。

❁ZWAR の活動内容

活動の専門家がいて活動に係るプログラムを提供するのではなく、ZWAR の活動がきっかけとなって親交が始まり、その先更に年齢を重ねて ZWAR の活動にたとえ参加できなくなったとしても、助け合うことが継続されることを望む。このように ZWAR の活動の役割の一つは、社会に参画することであり、これによって高齢になっても人生の質が高く保たれたり、人格形成の発展があることを目指している。また、ZWAR のネットワーク活動が地域にもたらす効果は、55 歳くらいのまだまだ活気のある世代が参加することによって、地域が

活性化し、その地域における生活の質が高まることにある。

ZWAR：趣味の活動を通して

助け合いの小集団を作る「支援」組織

- ・呼びかけは行政によるリーダーシップ
- ・活動は小集団全員による自主的・自発的なもの
- ・男性の参加
- ・市全域が対象
- ・研修：会の運営方法、仲裁方法
- ・ボスのリーダーを作らない

→若い時から、将来的な助け合いの関係を作る

✿ネットワークの形成方法

ある地域にそのネットワークを作ろうとする場合、市長のサイン入りの手紙を住民に出し、呼びかけに応じて集まった人々が自分たちで何かを作り出すのにどのようにしたらよいか等についての助言を行う。一般的にグループというのは、通常、リーダーのような人がいるが、そのようなリーダーがいないグループを作ることが重要である。一人のリーダーの肩にすべての重圧がかかるのではなく、多くの人でその重圧を分担できるグループを作ることが重要。

日本：「住んでいる場所」を一つの単位

責任者のリーダーシップによる助け合い

+

ZWAR：趣味の活動を単位

退職後間もない男性の参加

リーダーのいないフラットな関係

参加する人々が自ら活動を継続

↓

互助＝「助け合い」の促進

※ZWARの活動支援の具体的な方法を学ぶ

日本の助け合い構築のヒントになるか、ZWARの支援方法に取り組むべきか、実際にZWARに携わる人に来て頂き、これらを考える機会を持つことを今後の団の活動にしたい。